



かがやく瞳

じょうぶな体の子ども
ゆたかな心の子ども
のびのび遊ぶ子ども

No. 25

発行日 令和6年8月13日
発行責任者 大江 學
編集 社会福祉法人
北見福祉会広報委員会
〒090-0835 北見市光西町178-5
TEL 0157-57-5057
FAX 0157-57-4767

8月7日は「立秋」、暦の上では秋の始まりです。春にまいた種が大きく成長し、収穫する時季です。子ども達もこれまでの取組や活動が力となり、心身ともに大きく成長することを願っています。

“子ども自身に乗り越える力を!!”

屋内外の遊戯場に行って、こんなことを感じたことはないでしょうか。『友達でなくても人が多いと遊びが長続きする。少し難しい遊具を前にためらう子が、スイスイこなす他の子を見て挑戦する。失敗する。怖い思いをする。できる子をじっと観察する。もう一度やってみる。失敗の度合いが減ったと感じる。やがて、“できた!”』特に一つ年上など年齢の近い先輩の様子を見ること、真似をすることは、乗り越える力を育てます。

また、給食に苦手な野菜が出た時…。『目の前で〇〇ちゃんが、美味しそうに食べている。先生も「食べなさい。」なんて言わないで、「美味しいねえ、これ。給食の先生、頑張ってくれたんだね。」と優しく声かけをしている。恐る恐る食べてみる。「オエッ!」やっぱり無理。でも、先生も〇〇ちゃんも褒めてくれた。そして、“一口から完食!”』

多くの保護者の皆様が、日頃から「子どもを褒めて育てよう」と意識されていると思います。ただ、褒めることは意外と難しいものです。

まずは、タイミングと具体的に褒めることが大切です。特に、ちょっとしたことでも見逃さず、『その場で、すぐに』が、大事です。そうすることにより、子ども達には「自分は、見守られている。大切に思われている。」という経験が自己肯定感となり、挑戦する力になります。

余談ですが、苦手な食べ物の克服について、次のようなデータがありましたのでご紹介します。

まずは、子ども達にとって苦手代表のピーマンは、20歳までの克服率はなんと89%。玉ねぎ、ほうれん草、キャベツは、驚きの100%。日頃子ども達の食事で悪戦苦闘している皆様、今は無理でも食べられるようになるようです。ただ、キュウリの克服率は0%でした…。 (参考文献：保育通信)

***** 社会福祉法人 北見福祉会 令和6年度定時評議員会開催 *****

6月21日、西地区公民館において、北見福祉会の運営議決機関である「定時評議員会」と業務執行機関である「理事会」などが開催されました。

主な案件は、令和5年度事業報告や決算報告、こども園運営状況、感染症等の防止対策、施設の改修・改築、保育教諭等の人材確保や処遇改善策など盛りだくさんの内容でしたが、和やかな雰囲気の中で協議が行われ、提案された事項すべてが承認されました。



理事長あいさつ

理事長 大江 學

日頃より、保護者をはじめ関係者の皆様には、本会の活動に対しましてご支援・ご協力を賜っておりますことに感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行後、以前のように様々な活動が実践できるようになってきました。しかし、未だ収束には至っておらず、細心の注意を払いながら、子ども達が健康で安全な生活を送ることができるよう、一層の努力をしてみたいと思います。今後予定しております、各こども園での運動会や発表会等、子ども達が普段の力を十分に発揮できますよう、ご家族の皆様のご支援をよろしく願いいたします。

今後も“安心・安全な教育・保育の場”を提供するとともに、目指す子ども像の具現化に向け、役・職員一丸となり取り組んでまいりますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



北見福社会 理事・監事・評議員・第三者委員の紹介

理事長	大江 學	評議員	森田 陽子
副理事長	高橋 敏男	評議員	中川 勝彦
副理事長	山尾 幸正	評議員	竹村 直子
業務執行理事 (事務局長兼務)	鹿又 勝次(夕陽ヶ丘認定こども園長)	評議員	藤田 美知子
理事	杉浦 潤(みなみ認定こども園長)	評議員	高橋 道子
理事	佐藤 亮(光西認定こども園長)	評議員	菊野 淳一
監事	早坂 博民	評議員	重井 睦
監事	森谷 安夫	評議員	河合 健哉
		第三者委員	澤野 玲子
		第三者委員	所 とみゑ

※令和6年度の体制(8月10日現在)です。子ども達が毎日快適に生活でき、保護者や地域から信頼され、全職員が生きがいを感じながら働き続けられる… そんな魅力ある“北見福社会”を創造していきます。

各こども園での「こども達の様子」を紹介します

6月6日、「親子遠足」がありました。あいにく遠足日和とはなりませんでした。お父さん、お母さん、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒にクラス毎に公園まで歩き、レクリエーションを楽しみました。



子ども達は、ご家族の方と一緒に歩くだけでも嬉しく、「いってきま〜す」と元気に手を振って出発!! 公園では、寒さに負けずにスタンプラリーやゲームを楽しみました。お弁当はこども園に戻り、ホールや保育室で食べましたが、大好きなお父さんやお母さんと食べるお弁当の味は格別なようで、とても嬉しそうなお子ども達でした。



(「親子遠足」～夕陽ヶ丘認定こども園)

6月22日～23日、「5歳児お泊り会」が行われました。



みんなでカレー作り、すいかわり、宝探しの朝のお散歩、そして、なんといっても夜の探検! 今回はロボットカミィの絵本より『カミィにちびぞうを渡そう』のテーマの下、これまでカミィと手紙のやりとりをしながら、当日を迎えました。実際の



探検(天候が悪く屋内で実施)では、「こわい〜!」と言って大泣きする子もいましたが、勇気を出していろいろなミッションをクリアすることが出来ました。

この一泊二日で貴重な体験をした子ども達は、「わくわくしたあ!」「楽しかった!!」等、大満足のように、こども園での楽しい思い出の一つになったようです。(「5歳児お泊り会」～光西認定こども園)

7月6日に「ほしまつり」を行いました。数日前から雨予報でしたが、当日の雨雲レーダーでは南仲町付近だけ雲がなく、予定通り園庭で実施する準備をしました。



夕方、可愛らしい浴衣を着て子ども達が集まり、5歳児・ひまわり組が作製した提灯をバックに元気いっぱい♪子ども盆踊り♪と♪ジャンボリーミッキー♪を踊って、いよいよ「ほしまつり」スタート!というところで突然の雨…



そこで、急遽、園舎内に変更しての実施となりました。若干の不便さはありませんでしたが、お土産やくじの景品を手にとり満足そうなお子ども達の笑顔がいっぱいのお祭りとなりました。最後に小雨の中、役員のお父さん方が花火を上げてくれました。来年は、星空の下で花火が見られますように!! (「ほしまつり」～みなみ認定こども園)